



ETK0826006

2008年05月27日

 住友電気工業株式会社

光機器事業部 応用製品部

## 光ファイバカッタ(FC-7)Q&Aおよび簡易保守方法

### 1. Q&A

Q	A
切れない。 切れ残りがある。 端面角度が悪い。	・刃およびゴムクランプ(上下)を清掃してください。 ・清掃しても回復しない場合は刃を回転させてください。 ・刃の位置が12(刃に番号シールあり)まできたら刃を交換してください。 下記「2..簡易保守方法」を参照ください。
刃のスライドが途中で止まる。	・下記「2-1.刃・クランプ・枕の清掃方法」の※部分にグリスを塗布してください。
刃の寿命は	・丸刃の1箇所では約1,000心の切断が可能です。 4心テープファイバでは約250回の切断が可能です。

## 2. 簡易保守方法

### 2-1. 刃・クランプ・枕の清掃

(光ファイバカッタの特性を維持するため、毎日使用前後に清掃する事を推奨します。)

- ・アルコールを浸した綿棒でクランプ、枕(共に黒いゴム)の表面に付いたゴミ及びファイバ屑を綺麗に拭き取ります。



- ・アルコールを浸した綿棒で切断刃のエッジ部に付いたゴミ及びファイバ屑を綺麗に拭き取ります。



注意:※印箇所のカッタホルダー上部にはグリースが塗布されていますので清掃しない様をお願いします。



- ・添付のブラシでホルダステージ部に付着しているゴミ及びファイバ屑を綺麗に拭き取ります。

**Point:** クランプ、枕部にゴミ及びファイバ屑を残した状態で保管しますとゴム部の劣化による切断不能及び切断特性の異常原因になりますのでご注意ください。

## 2-2.切断刃位置調整(回転)手順



- 1.添付の六角レンチを使用してホルダステージの○箇所のネジ(2コ)を外します。
- 2.ホルダステージと底ケースを矢印方向に本体から外します。



- 3.マイナスドライバを使い切断刃を止めているネジを緩めます。



ネジは緩めるだけです、外さないで下さい。



- 4.綿棒を使い切断刃側面を押さえながら回転させます。

**Point:** 切断刃は12目盛りが付いています。回転は1目盛り単位を目処に行ってください。



切断刃の先端は精密に仕上がっています。取扱い時に切断刃先端に触れないように注意して下さい。



5.切断刃の上部側を綿棒(柔らかい物)で押しながら、マイナスドライバを使い切断刃を止めているネジを締めて下さい。



ネジを締める時は、ドライバを滑らせて切断刃を傷付けない様に注意して下さい。



6.ホルダステージと底ケースを矢印方向に取り付けて下さい。

7.ホルダステージの○箇所のネジ(2コ)を締め付ける。

8.ファイバを切断して、切断状態及び切断面の特性を確認します。

切断状態及び切断面の特性が悪い時は1~8の作業を繰り返して下さい。



左写真の赤丸箇所のネジは絶対に触らないようにご注意ください。  
切断刃の高さが変動して、切断特性に影響致します。  
間違えて触って切断刃高さが変動した時は、弊社保守サービス窓口による調整を推奨致します。

以上